



取締役社長  
安達 義二郎氏

### プロフィール

1981年4月に安田信託銀行(現・みずほ信託銀行)に入社。2008年4月みずほ信託銀行執行役員業務統括部長、2010年4月常務執行役員、2012年4月にはみずほ信託不動産販売(現・みずほ不動産販売)代表取締役副社長。同年6月より日本カーリット(現・カーリットホールディングス)監査役に就任、2014年4月より平成ビルディング代表取締役社長、平成ビルサポート代表取締役社長および新呉服橋ビル管理代表取締役社長に就任し現在に至る。

### 平成ビルディング

当社はみずほ信託銀行グループの親密会社として、ワンストップでのビル総合メンテナンスサービスの提供を行っています。また、昨今、オーナー・テナントのニーズが変化してきている。特に顕著なのは防災や環境

対策です。管理しているビルでは防災訓練に1000名以上の

合には早急な修理・交換を要請されるようになってきています。環境面においても同様ですが、個々の事情が絡み合う場面も少なくありません。言うのも、テナント側は管理費用の経費削減につながるため省エネを推進します。しかし、オーナーにとって省エネ機器更新は負担となるため慎重です。このような利害が衝突するケースではチェックニングによる省エネ対策を提案させていただいています。これはワンストップでの総合的なサービスを提供してきた強みだと思っています。これからビル管理会社はニーズを把握し提案していく能力が求められます。当社では平成14年より「顧客満足度調査」を実施し、オーナー・テナントの双方から管理における要望等聞き取ってきまし

### オーナー・テナントからニーズを汲み取り 日常管理に加えて提案力がポイントに

も役立つています。ビル管理はサービス業です。顧客のニーズに沿った適切な管理を行うことが求められます。業務品質を向上させるべく努力していく中で人材の育成もなされていくと思

把握し、更に、ここで得た提案し、結果を基にして人材育成にも取り組むなど、ビル能力が、メンテナン業界の課題を求めらるべく、求めています。話を、同社では環境対策や防災でも先進的な取り組みを進める。特に、近年、設備機器の更新に伴って、い「エコチェックニング」などの手法も出てきて

平成ビルディング(東京都中央区)取締役社長の安達義二郎氏によれば「これからのビル管理会社は、ニーズを

いる。従来、テナント側は省エネ化に対して、光熱費などの削減につながるために、ニーズはあったが、オーナーからはリニアール費用が高額となるため、補助金制度が活用できるとしても二の足を踏むことが多かった。「エコチェックニング」は既存の設備の運用改善によって、省エネ化を可能にしているため、オーナー・テナントの双方にとってメリットがある形となっている。同社ではこのようなニーズを、平成14年から継続して実施している「顧客満足度調査」で常に把